

酒井瑞穂さん(本宮出身)最高賞

ミスノの優秀指導者表彰

日本の優秀な指導者を表彰する「ミスノスポーツメントル賞」の最優秀に当たるゴールド賞に、東洋大陸上部の酒井瑞穂監督補佐・競歩コーチ(47)＝本宮市出身＝が選ばれた。本県出身者のゴールド賞受賞は初めて。表彰式が23日、東京都内で行われ、酒井さんは一悶わった選手が成長し、人生を切り開いていく姿が一番の原動力になったと喜びを語った。

競歩メダリスト輩出

酒井さんは福島西女(現 手として活躍し、卒業後は福島西)高、日本女子体育 本県で高校教員となつて指大卒。学生時代は競歩の道 選手の道に進んだ。



ミスノスポーツメントル賞の最優秀に当たるゴールド賞を受賞し、喜ぶ酒井瑞穂コーチ(左)と大の役者監督 東京部

東洋大の酒井俊幸陸上競技部長兼部門監督(47)＝学法石川高卒＝の妻でもあり、2009年には夫の同大監督就任を機に瑞穂さんも監督補佐に就任した。18年に競歩コーチの肩書が加わり、東京五輪で競歩銀メダルの池田尚希(旭化成)や世界陸上2大会連続メダルの川野将央(同)らを指導。国際大会で活躍する選手を輩出してきた実績が評価された。

夫の東洋大監督 俊幸さんも出席

瑞穂さんは、指導者としてスタートした教員時代を原点に挙げ「福島は駅伝や陸上が盛んな地域。熱心な

恩師「信念の結果」

本県初のゴールド賞の受賞を関係者も祝った。瑞穂さんを福島西女高時代に指導した須田美和子さん(75)は「男性指導者が多い中で、自分の信念を持って柔軟性を忘れずに指導を重ねてきた結果だ」と教え子の活躍をたたえた。酒井さんにも受賞の連絡があったといい「指導者にとって大きな励みになる成果になった」と喜んだ。

先生方にたくさん教育を受けたことが、指導者の基礎となつて今がある」と感謝。今夏のパリ五輪では競歩チームに帯同する予定で「日本に貢献できるように頑張っていきたい」と語った。表彰式には俊幸さんも同席し、妻の受賞を祝った。ミスノスポーツメントル賞はミスノスポーツ振興財団が日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会と共催で1990年度に制定。ゴールド賞は元ソフトボール女子日本代表の宇津木妙子監督、元サッカー女子日本代表の佐々木剛夫監督らが受賞している。陸上界では、12年ぶりの受賞となった。